

# 全校による家庭学習（MAEKAWA学習）について

## 1 目的

- 1年生は家庭学習を習慣づけ、基礎学力の定着をはかりましょう。
- 2年生は1、2年の内容を復習して、3年生につなげましょう。
- 3年生は入試及び高校生活に対応できる学力作りをめざしましょう。

## 2 ネーム「MAEKAWA学習」の由来

ま・・・前に進める	→ 予習（苦手な教科は特に）、復習（理解を深め定着させる）
え・・・選ぶ	→ 学習したい教科を、めあて（目的）をもって自ら選択する。
か・・・可能性を信じる	→ 自分の可能性を信じて日々続ける。
わ・・・わかる授業を増やす	→ 日々の積み重ねが、わかる授業につながる。

## 3 方法について

### ① 内容

自己選択（主に5教科から）とする。



### ② 1日の学習量と使用する物

- ・ 当初は大学ノート1ページ以上を原則とする。1冊目は学校で配布、2冊目以降は自分で大学ノートを購入する。
- ・ ノートは学期や学年を経るにつれて、学年の先生の指導・許可により、バインダーノートや問題集等への直接記入も可とする。ただし、各教科で用意されたワークの提出を前川学習に加えることはできない。
- ・ 学期や学年を経るにつれて、学年の先生の指導により1日3教科以上等の条件を加えることも可とする。

### ③ 提出方法

- ・ 担任が集めて点検してもよいし、班に学習係を置いて点検させるなどの措置をとってもよい。どちらにせよ、担任は点検そのものよりも内容の指導に重点を置きたい。
- ・ 前日が休日の場合は、その分も提出する。

### ④ 前川学習を忘れた人の措置

- ・ 正当な理由もなく前川学習を忘れた者は、翌日学校でやって担任の先生に提出する。

## 4 評価

- ・ 月毎にパーカエクト者を学年便りや掲示物で示し、その努力を讃える。
  - ・ 学期末には、優秀な者を学年で表彰する。
- ※ 発熱による欠席や出席停止等、正当な理由がある場合はやむを得ず前川学習ができなくとも月間・年間パーカエクト者であることを認める。

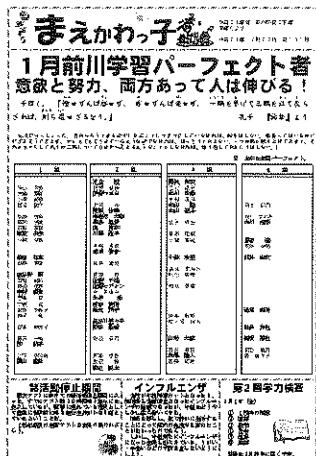
## 5 その他

- ・ 目標を持ち、計画的に進めさせるとともに、現在の学習法に満足せず絶えず方法の工夫改善を図らせる。

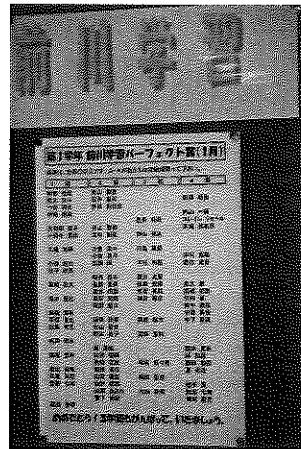
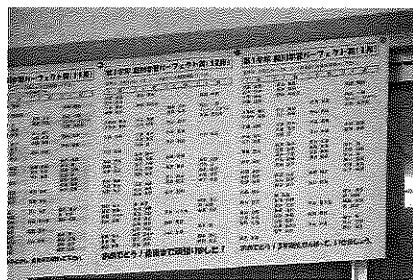
# 効果的な前川学習の実施に向けて（教師用資料）

## 1 評価の工夫例

① 学年便りに記載

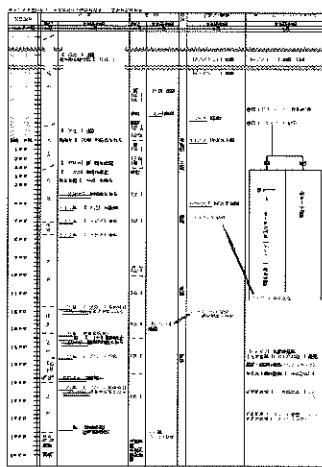


② 教室・廊下に掲示



## 2 方法の工夫・改善例

① 学習プリントの配布

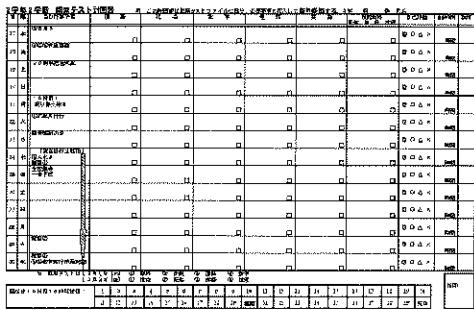


② 学習する道具の紹介



## 3 時間を累計する取り組み例

① テスト前30時間取り組み



② 夏休み100時間勉強

